

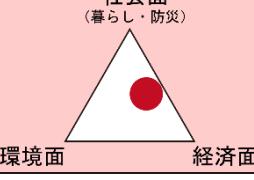
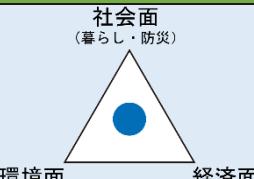
## 第 4 章 エリア別の緑のまちづくり方針

## 第4章 エリア別の緑のまちづくり方針

### 1. 緑のまちづくりの展開図の設定

本市における将来的なまちづくりの方向性を示した都市計画マスタープランや集約都市形成計画との整合を図りながら、金沢の重層性ある緑の多面的な機能の発揮を目指します。

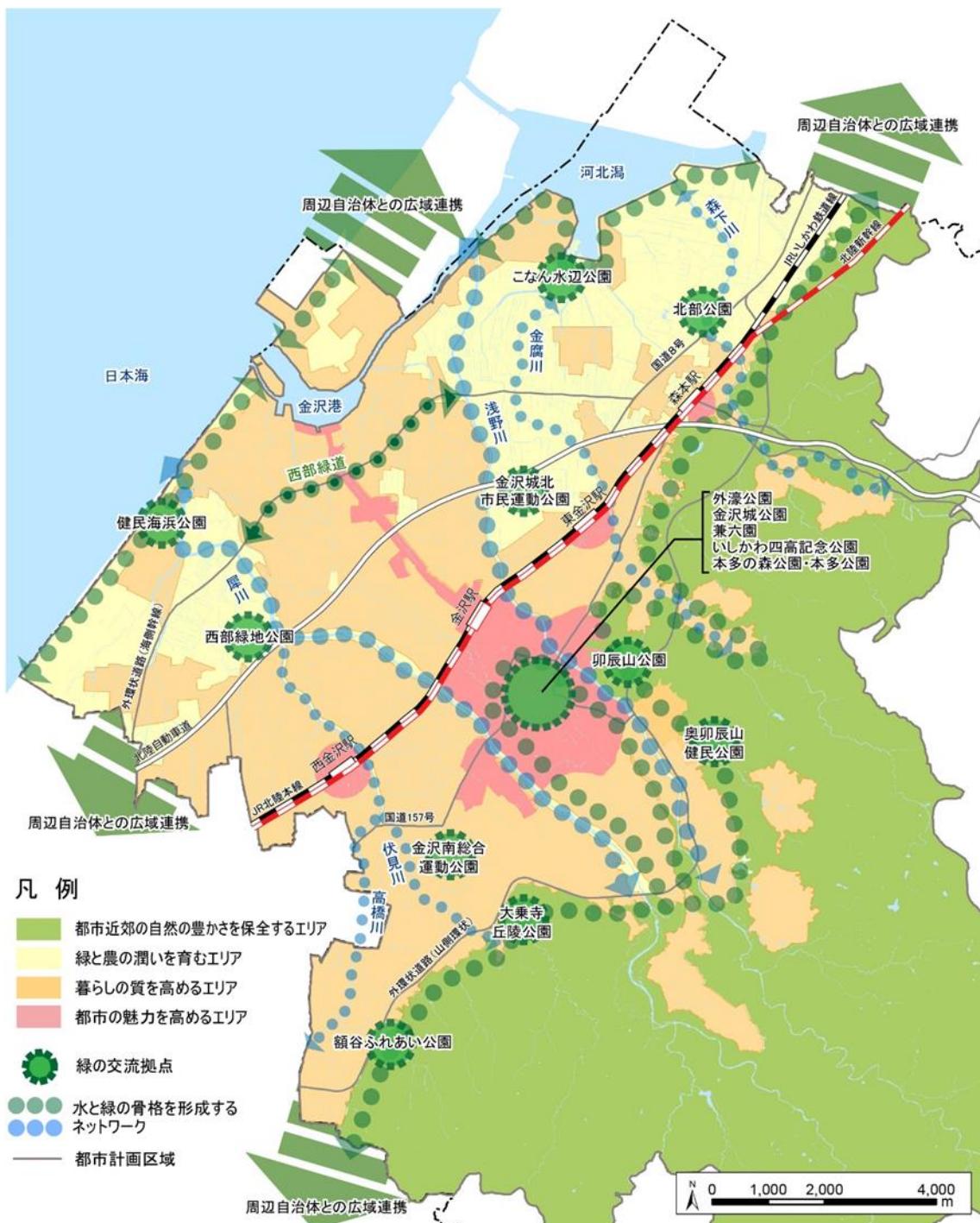
緑のまちづくりを展開するエリアと緑の交流拠点及びネットワークを次のとおり位置づけ、市民や地域等とのさらなる連携や協働を図り、それぞれの緑のまちづくり方針の実現にむけた取組を進めます。

区分	緑の機能発揮※ (比重イメージ)	位置づけ
緑のまちづくり展開エリア	都市近郊の 自然の豊かさを 保全するエリア	 <p>都市の後背地となる里山の自然と生物多様性を保全するエリアとして位置づけます。</p>
	緑と農の潤いを 育むエリア	 <p>海岸や河北潟周辺の緑や田園、集落の緑など、地域の潤いある緑を育むエリアとして位置づけます。</p>
	暮らしの質を 高めるエリア (一般居住区域※) (居住誘導区域※)	 <p>緑の柔軟な活用や魅力向上により、暮らしの質を高めるエリアとして位置づけます。</p>
	都市の魅力を 高めるエリア (都市機能誘導区域※)	 <p>緑の質の向上及び緑の創出等により、重点的に金沢の魅力や個性、賑わいを高めるエリアとして位置づけます。</p>
緑の交流拠点・ネットワーク	緑の交流拠点	 <p>広く市民や来訪者のスポーツやレクリエーション、憩い、交流の場となる特徴的で複合的な緑の拠点として位置づけます。</p>
	水と緑の骨格を 形成する ネットワーク	 <p>金沢の地形特性を活かし、市民生活を支え、多様なレクリエーションや交流等を促すネットワークとして位置づけます。</p>

※金沢市集約都市形成計画における誘導区域設定を参考にしています。

※緑の機能発揮の三角グラフは、各エリアのまちづくりにおいて、大きく3つの機能的側面からみた発揮比重イメージを示しています。(第2章6. 参照)

### 【緑のまちづくりの展開図】



※緑のまちづくりの展開においては、「周辺自治体との広域連携」を視野に入れ、協力体制を整えながら取り組んでいきます。

## 2. 展開エリアにおける緑のまちづくり方針

### 1) エリア別にみたまちづくり方針

#### (1) 都市近郊の自然の豊かさを保全するエリア

##### ◆現況と課題

このエリアは、市街地の背景となる里山の緑が広がり、災害防止や水源かん養、生物多様性の確保等の多面的な機能を発揮しつつ、地域の産業や伝統文化と密接に関わり育まれてきました。

また、大乗寺丘陵公園や卯辰山公園など、地形を活かした緑の交流拠点が立地するほか、風致地区や斜面緑地保全区域、農業振興地域、保安林等に指定され、豊かな自然環境を形成しています。

一方、エリア内では、人口減少や少子高齢化が進行しており、耕作放棄地の増加、森林所有者の持山に対する管理意識の低下による農林地の荒廃等が見られるため、今後、自然の豊かさを保全し、生態系ネットワークを強化していくことが求められます。



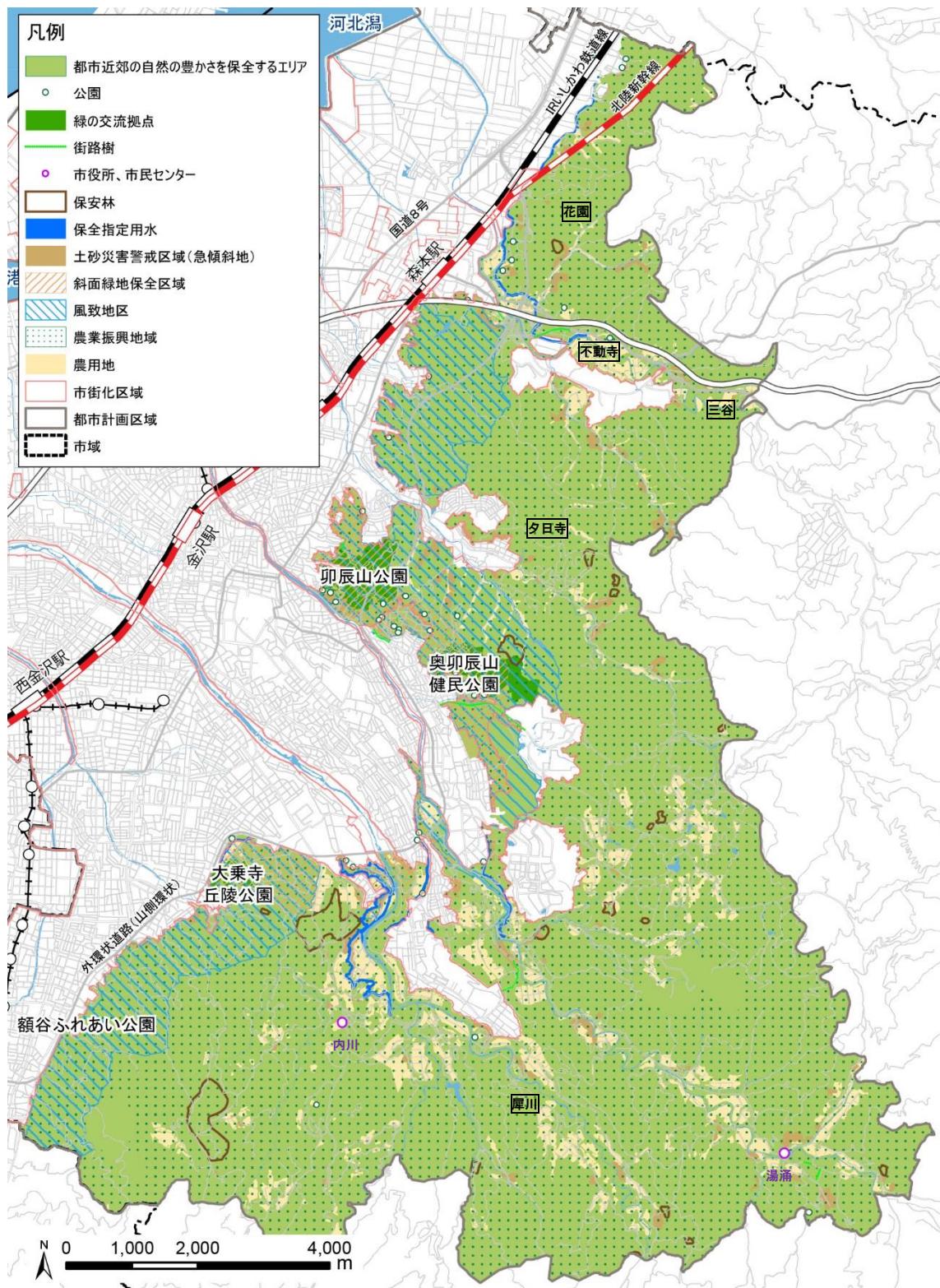
##### ◆緑のまちづくり方針

#### 里山が有する多面的な機能の発揮と生態系ネットワークの強化により 次世代に引き継ぐ緑のまちづくり

継：継承に関する施策、連：連携に関する施策

区分	主な取組内容
歴史 文化の緑	継 地域のシンボルとなる社寺林は、歴史とコミュニティとの関わりに配慮しながら、景観樹・樹林の適切な指定と保全管理の支援を行います。 連 辰巳用水や寺津用水、長坂用水等の保全用水は、地域の緑を支える重要な水資源であるため、地域主体の保全管理活動を促進します。
地形の緑	継 農地が有する多様な機能の保全にむけ、適切な維持管理を促進します。 継 東部から南部へと連なる丘陵地、小立野台地等の風致地区や斜面緑地保全区域においては、適切な開発と緑化誘導、緑の維持管理の支援を行い、市街地の借景となる貴重な緑として保全、継承します。 継 連 里山の緑は、立地環境に応じた役割を考慮しながら、地域との新たな関わりによって価値を再構築し、生態系の公益的機能を向上させます。 継 連 地域や市民との協働による荒廃竹林の伐採と森づくり活動を推進し、生態系ネットワークの強化と良質な景観の回復を図ります。 連 専門家や地域、教育機関等の多様な主体と連携し、自然体験や緑育の場、市民農園など、市民の学びやふれあいの場として保全と利活用を図ります。

【エリア位置図】



## (2) 緑と農の潤いを育むエリア

### ◆現況と課題

このエリアは、田園、用水、海岸や河北潟周辺の緑と集落等の緑があいまって、地域の暮らしに潤いを与えています。

エリア北部の河北潟周辺では、大部分が市街化調整区域に指定されており、水稻や蓮等の四季を通じて移り変わる田園の緑や河川沿いの緑のほか、北部公園やこなん水辺公園をはじめとした緑の交流拠点と民有地の緑が一体となり、平野部におけるゆとりある環境を育んでいます。

一方、エリア内では、農業の担い手不足等による遊休農地の拡大や維持管理が行き届かない農業用水が見られるほか、小規模な宅地開発をはじめ、多様な開発行為が進んでいる地域が存在しており、今後、田園や水辺の緑と集落等の緑が一体となった緑を適切に保全し、育んでいくことが求められます。



### ◆緑のまちづくり方針

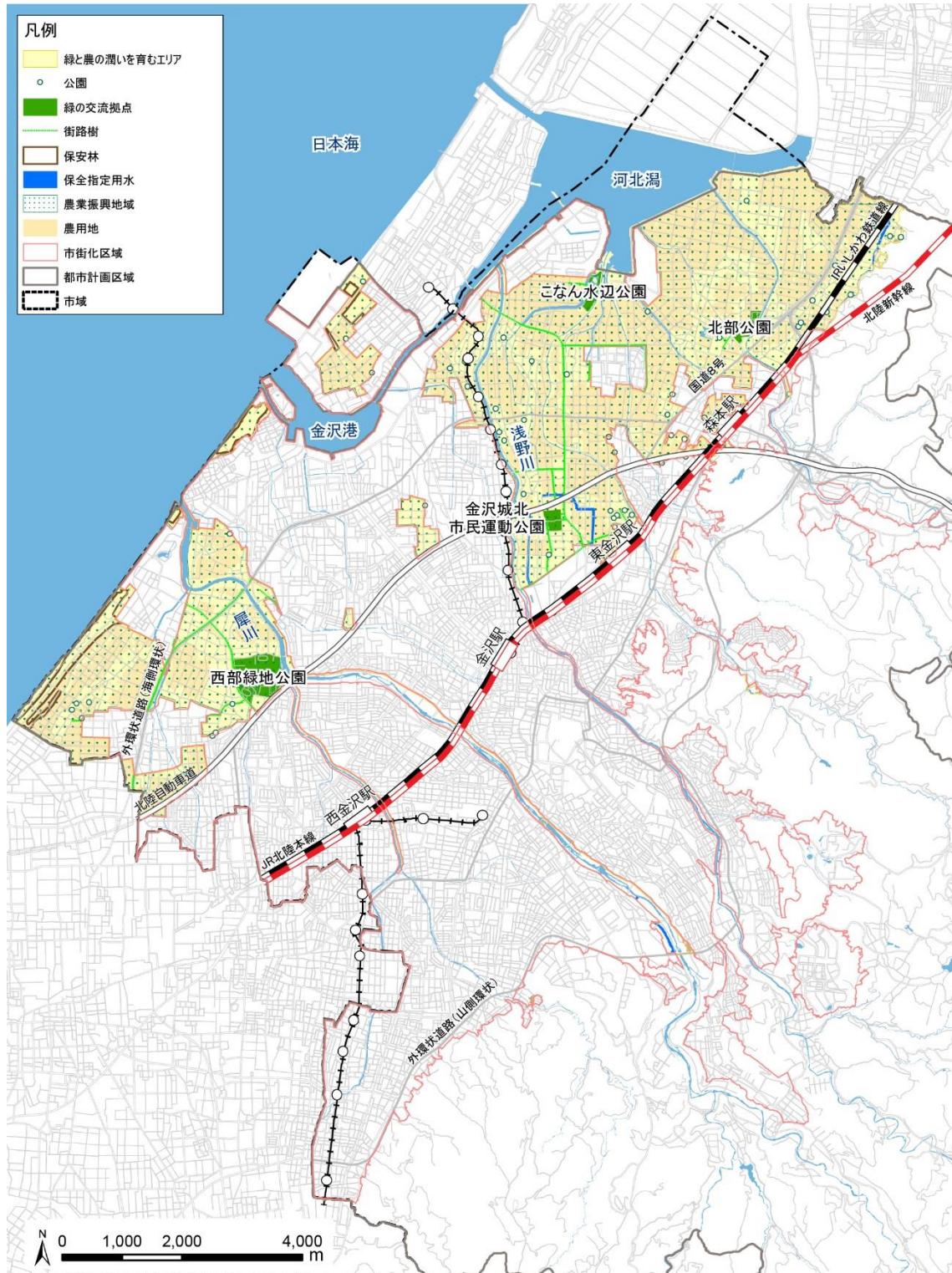
#### 田園や水辺の緑と集落等の緑が一体となった潤いある生活環境や ゆとりある暮らしを育む緑のまちづくり

継承 : 繼承に関する施策、活用 : 活用に関する施策、連携 : 連携に関する施策

区分	主な取組内容
都市の緑	<p>継承 こなん水辺公園や柳瀬川つつみ公園など、水辺の自然と一体となった緑を適切に維持管理し、良好なかたちで保全します。</p> <p>活用 公園緑地や街路樹の適切な維持管理を推進し、周辺の農林地と一体となった水と緑のネットワークの形成を促進します。</p>
歴史文化の緑	<p>継承・連携 集落や社寺林等の地域のシンボルとなる緑は、保存樹・樹林の指定と地域における価値の認識向上に努め、良好なかたちで保全、継承します。</p>
地形の緑	<p>継承・連携 五郎島金時や加賀れんこん等の加賀野菜の一大生産地として、地域農業の中心となる担い手育成や農地集積等による生産活動の継続性を維持し、豊かな農地を保全します。</p> <p>継承・連携 農地や河川、用水網の保全により、洪水調整機能の発揮を確保します。</p> <p>継承・活用 農地転用許可等による適切な開発誘導や遊休農地の有効活用等により、水と緑豊かな田園景観を保全します。</p> <p>継承・連携 県や多様な主体と連携しながら、海岸保安林や河北潟の水辺、犀川や浅野川、金腐川、森下川等における河川沿いの緑を保全します。</p>

## 第4章 エリア別の緑のまちづくり方針

## 【エリア位置図】



### (3) 暮らしの質を高めるエリア

#### ◆現況と課題

このエリアは、公園緑地や街路樹、民有地の緑等があいまって、良好な住環境を形成しています。集約都市形成計画においては、大部分が居住誘導区域や一般居住区域に設定され、特に居住誘導区域においては、日常生活に必要なサービス機能や一定水準の公共交通サービスを確保し、将来にわたり便利に生活できる区域として位置づけられています。



一方、エリア内では、公園樹木や街路樹の生長、公園施設の老朽化等が進んでおり、維持管理に係る負担が増加しています。また、少子高齢化等による空き家や空き地の増加、緑を守り育てる担い手の減少、市民の緑化意識の低下が懸念されるとともに、大地震や豪雨時における被害の軽減など、安全安心なまちづくりにむけた課題への対応が求められています。

#### ◆緑のまちづくり方針

緑豊かな住環境の適切な維持と緑の多面的な機能発揮により  
暮らしの質を高める緑のまちづくり

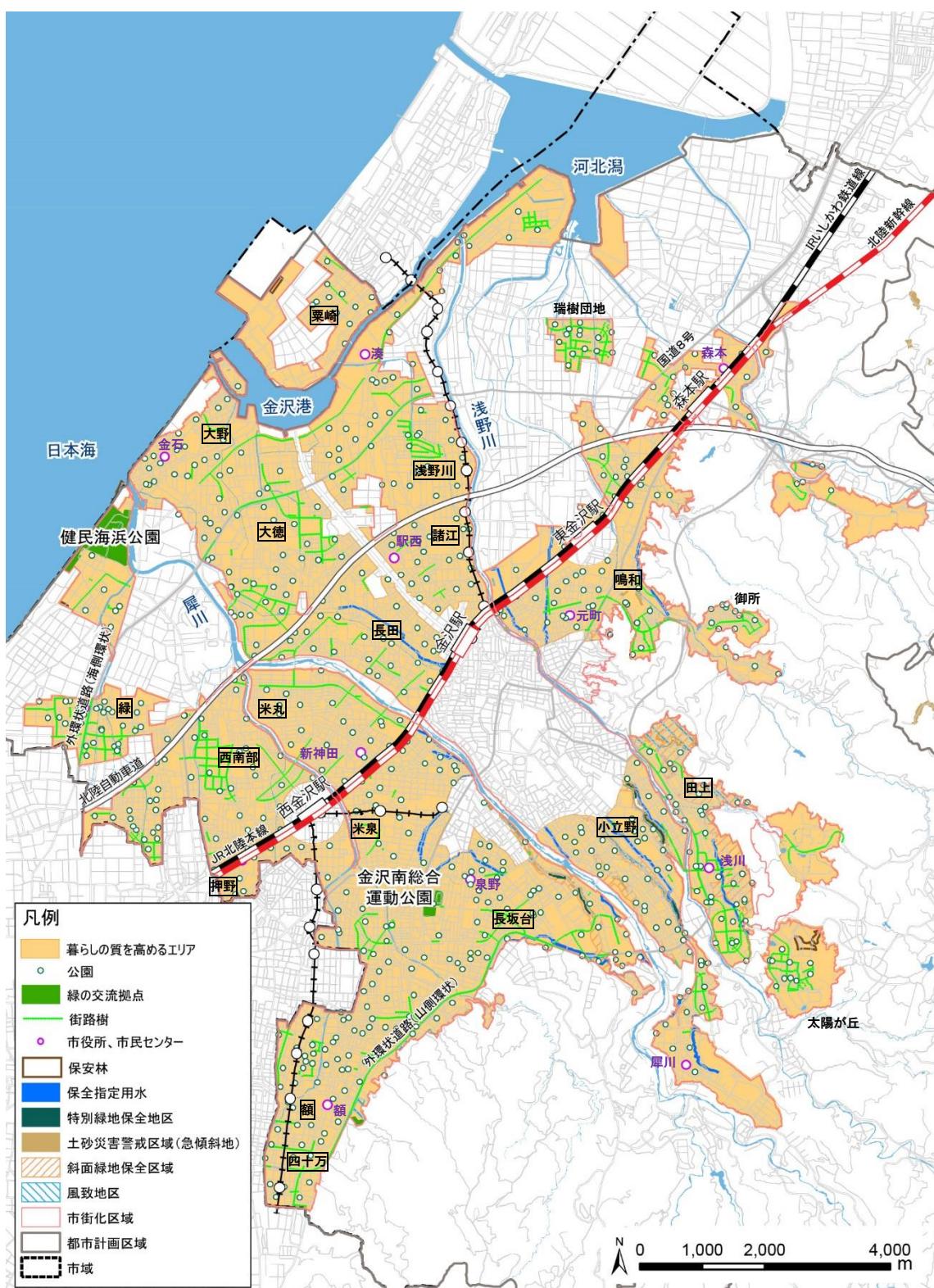
継：継承に関する施策、活：活用に関する施策、連：連携に関する施策

区分	主な取組内容
都市の緑	<p>継 豊かさとゆとりが感じられる地域の暮らしを支えるため、設置から長期経過している公園緑地の樹木や施設の適切な維持管理・更新を行います。</p> <p>継 地域の個性的な景観を形成する街路樹を適切に維持管理するとともに、老朽化した危険木等の計画的な更新を行います。</p> <p>活 金沢南総合運動公園等の大規模な公園を対象に、非常時の避難場所や排雪場としての活用を想定した整備や再整備を進めるなど、防災機能の強化に努めます。</p> <p>活 公共交通重要路線のバス停や鉄道駅周辺の地区では、交通施策と連携しながら、利便性の向上等に配慮した公園リニューアルを進めます。</p> <p>連 瑞樹団地等における緑のまちづくり協定や地区計画に基づいた市民協働による緑化活動を促進するほか、公園愛護団体や花いっぱい運動団体等の多様な主体による緑のまちづくりを支援し、緑豊かな住宅地の維持向上を図ります。</p> <p>活 公園緑地や街路樹と、周辺の農林地や水辺の緑が一体となった「水と緑のネットワーク」の形成を促進します。</p> <p>連 少子高齢化や人口動態の変化等に伴う課題解決にむけ、地域とともに緑のマネジメントに取り組み、地域の特性やニーズに応じた公園緑地の機能分担や再編について検討し、地域が主体となった公園緑地のリニューアルや運営・管理を支援します。</p>

第4章 エリア別の緑のまちづくり方針

区分	主な取組内容
歴史文化の緑	緑運集落や社寺林等の地域のシンボルとなる緑は、保存樹・樹林の指定と地域における価値の認識向上に努め、良好なかたちで保全、継承します。

## 【エリア位置図】



## (4) 都市の魅力を高めるエリア（緑化重点地区）

### ◆現況と課題

まちなか区域は、犀川や浅野川のほか、鞍月用水や大野庄用水等の保全用水が流れ、兼六園や金沢城公園、保存樹・樹林等の緑、公園緑地や街路樹、公共公益施設の緑化空間など、多様な緑が一体となった象徴的な空間を形成し、都市の魅力を高めています。また、集約都市形成計画においては、駅西の都心軸やJR北陸本線の各駅周辺を含め、都市機能誘導区域に設定されており、様々な都市機能を集積し、都市生活の利便性を確保することで賑わいを高める区域として位置づけられています。



一方、エリア内では、保存樹・樹林等の貴重な歴史文化の緑に対する周知不足や公園緑地における市民の利用ニーズとのミスマッチのほか、少子高齢化に伴う空き地や駐車場等の低未利用地の増加、大雪や大地震等に対する地域防災力の強化、地域コミュニティに根ざした緑のあり方など、多様な課題への対応が求められています。

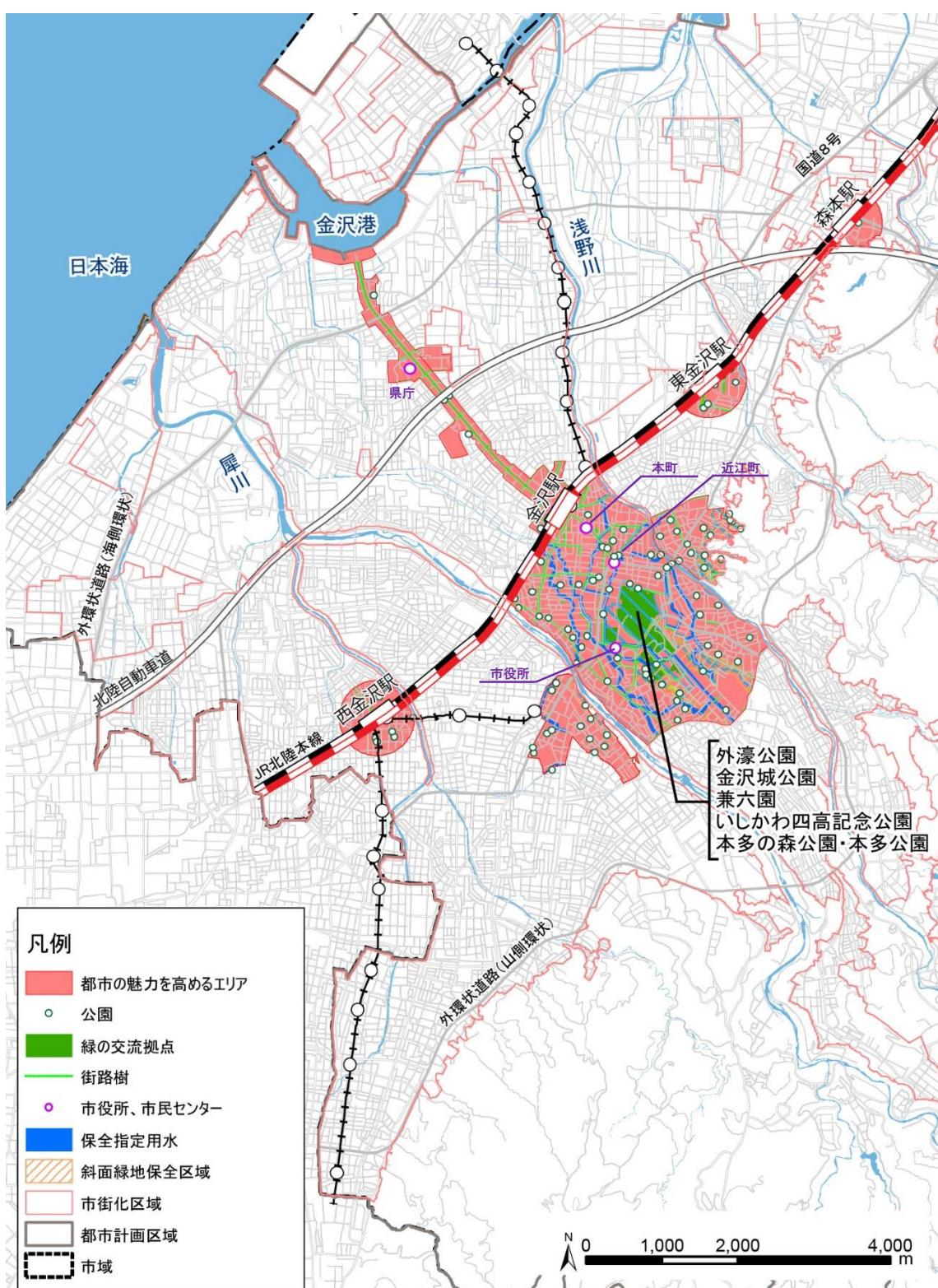
### ◆緑のまちづくり方針

緑の機能を効果的に組み合わせた多様な都市空間の創出により  
魅力を高める緑のまちづくり

継：継承に関する施策、活：活用に関する施策、連：連携に関する施策

区分	主な取組内容
都市の緑	<p>(都心軸[金沢駅—金沢港]周辺)</p> <p>継連 金沢駅西広場とその周辺地区は、陸の玄関口にふさわしい緑化空間として良好な維持管理に努めるとともに、賑わい創出機能も備えた快適でゆとりある民有地緑化を促進します。</p> <p>活連 沿線の住宅地においては、地区計画に基づき、後背地の住宅地等と調和したゆとりと魅力が感じられる民有地の緑化を促進します。</p> <p>活連 国や県と連携し、金沢港周辺における海の玄関口としてのおもてなしに配慮した緑環境の創出等について検討し、その整備に取り組みます。</p> <p>(東金沢駅・西金沢駅・森本駅周辺)</p> <p>継連 市民や事業者と連携し、駅前広場周辺の公園緑地や街路樹等の適切な維持管理や緑化に努め、緑豊かな駅前の交流空間の形成を図ります。</p>

【エリア位置図】



### 凡例

- 都市の魅力を高めるエリア
- 公園
- 緑の交流拠点
- 街路樹
- 市役所、市民センター
- 保全指定用水
- ▨ 斜面緑地保全区域
- ▨ 市街化区域
- ▨ 都市計画区域
- 市域

緑 : 繙承に関する施策、活 : 活用に関する施策、連 : 連携に関する施策

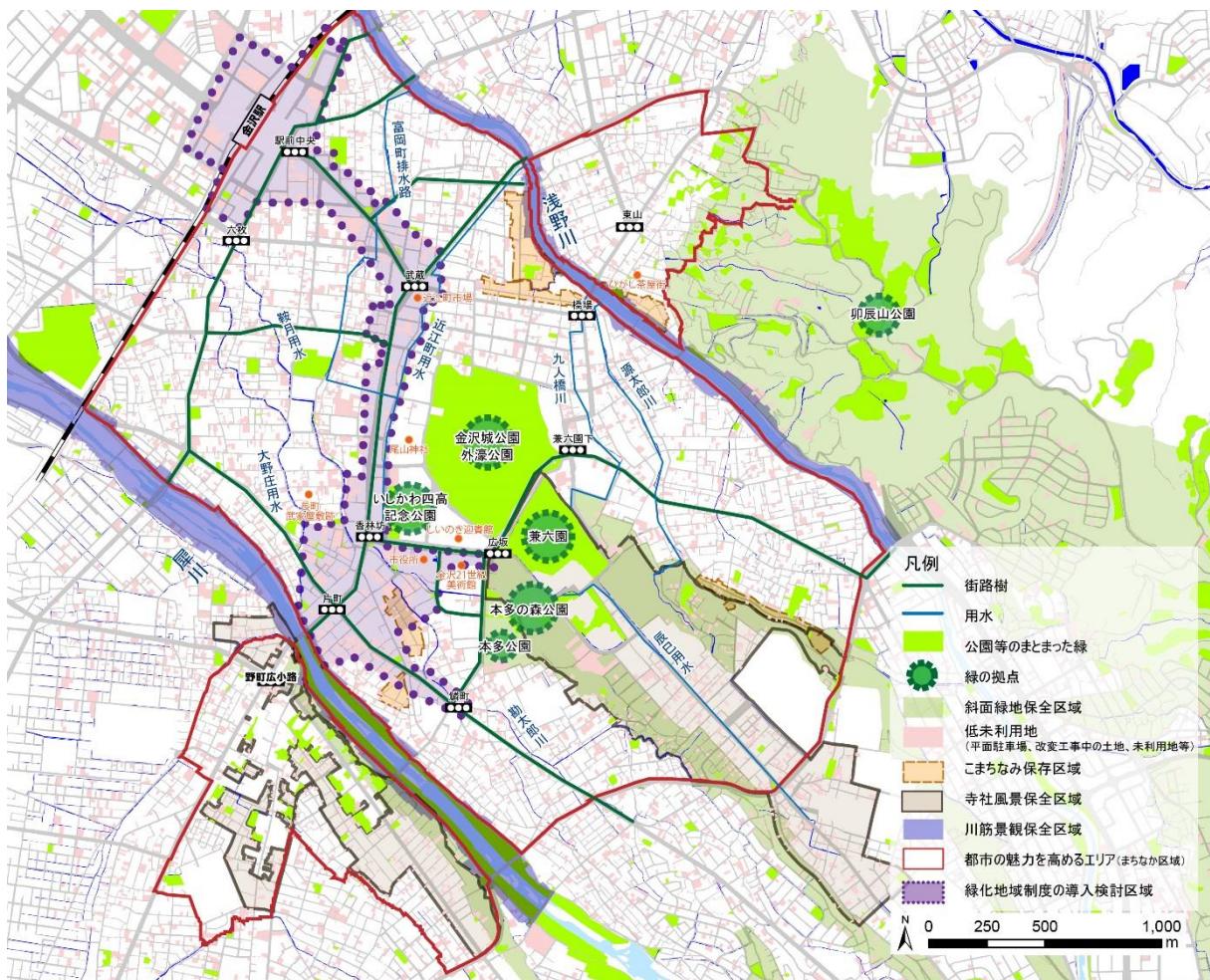
区分	主な取組内容
都市の緑	<p>(都心軸[金沢駅一片町]周辺)</p> <p>活 緑化地域制度等の活用について検討し、その導入を図りながら、屋上・壁面緑化やプランターによる飾花等を支援し、沿道の賑わい創出や景観向上に寄与する魅力的な緑化空間の創出を促進します。</p> <p>連 国や県のほか、金沢駅通り線や国道 157 号沿道の事業者や商店街等と連携し、まちなかに彩りを加える花いっぱい運動に取り組みます。</p> <p>(まちなか区域)</p> <p>緑 公園緑地の樹木や施設の適切な維持管理・更新に取り組みます。</p> <p>活 公共公益施設の建て替え等に併せ、地域に開かれた魅力ある緑化空間の創出を促進します。</p> <p>活 緑のまちづくり協定の締結等を進め、民有地における魅力ある緑化空間の創出を促進します。</p> <p>活 都市公園が不足している地区では、市民緑地認定制度により、低未利用地を活用し、地域のコミュニティ交流や健康づくり、避難場所等にも有効な暫定的な緑化空間の創出を支援します。</p> <p>活 連 まちなか特有の小公園や小緑地、児童遊園、街園等のあり方を考慮しながら、地域主体の緑のマネジメントを進め、社会情勢の変化や土地利用の転換等に伴う課題解決にむけた機能分担や再編について検討します。</p> <p>活 連 まちなかの木造住宅密集地域については、防災まちづくりと連携し、災害時における身近な避難場所となる緑地（広場）を整備します。</p> <p>活 市民の主要な生活道路や観光ルート、用水沿いにおいて、魅力ある緑の休憩空間を創出し、「水と緑のまちなか交流軸」を形成します。</p> <p>活 連 商店街や事業者と連携し、都心部の商業地にふさわしい賑わいや交流に寄与する魅力ある緑のオープンスペースの確保に努めます。</p> <p>連 既設公園の再整備においては、P a r k · P F I 制度など、民間活力の活用を視野に入れ、公民連携による効果的かつ効率的な運営・管理手法を検討し、新たな機能発揮や市民サービスの提供に取り組みます。</p>
歴史文化の緑	<p>(まちなか区域)</p> <p>緑 市民の伝統芸能と密接に関わってきた金澤町家や茶室に付随した庭等の緑は、文化財指定に加え、新たな認証制度の創設等による保全や継承にむけた取組を促進します。</p> <p>緑 連 保存樹・樹林については、寺社風景保全やこまちなみ保存等の景観施策と連携しながら、ガイドマップ作成やツアーの実施等により、地域だけでなく来訪者にも保存樹・樹林の価値を認識できる機会を創出するとともに、適切な維持管理を促進し、良好なかたちで継承します。</p>

第4章 エリア別の緑のまちづくり方針

継：継承に関する施策、活：活用に関する施策、連：連携に関する施策

区分	主な取組内容
歴史 文化の緑	<p>(まちなか区域)</p> <p>❶ まちなかを流れる用水や用水を引き入れた庭園は、多様な主体との連携によって適切な維持管理や清掃活動を行い、良好なかたちで継承します。</p> <p>❷ 金沢城公園や兼六園については、鼠多門・橋をはじめとする復元整備を継続的かつ計画的に進めるとともに、適切な修繕や改修等を行い、本市の象徴として質が高く魅力ある緑として良好なかたちで保全、継承します。</p>
地形の緑	<p>(まちなか区域)</p> <p>❶ 屋川や浅野川沿いの緑については、県との連携や市民との協働によってサクラの植樹や更新等に取り組み、地域とともに良好な川筋景観の保全と魅力向上を進めます。</p> <p>❷ 屋川や浅野川については、国や県、地域の商店街や団体等と連携しながら、祭りやイベントの場としての活用のほか、ライトアップ等による夜間景観の向上を進めます。</p>

## 【エリア拡大図（金沢駅以南）】



## 2) ネットワーク形成にむけたまちづくり方針

### (1) 緑の交流拠点・水と緑のネットワーク

#### ◆現況と課題

本市には、まちなかの象徴となっている兼六園や金沢城公園をはじめ、市民のスポーツやレクリエーション活動を支える金沢城北市民運動公園、金沢南総合運動公園、日常生活にやすらぎを与える大乗寺丘陵公園、卯辰山公園など、規模の大きな緑の交流拠点が存在します。



また、市内を流れる犀川や浅野川等の河川が日本海、河北潟と市街地の背景となる丘陵地を結び、西部緑道とともに本市における水と緑のネットワークを形成する骨格が整っています。



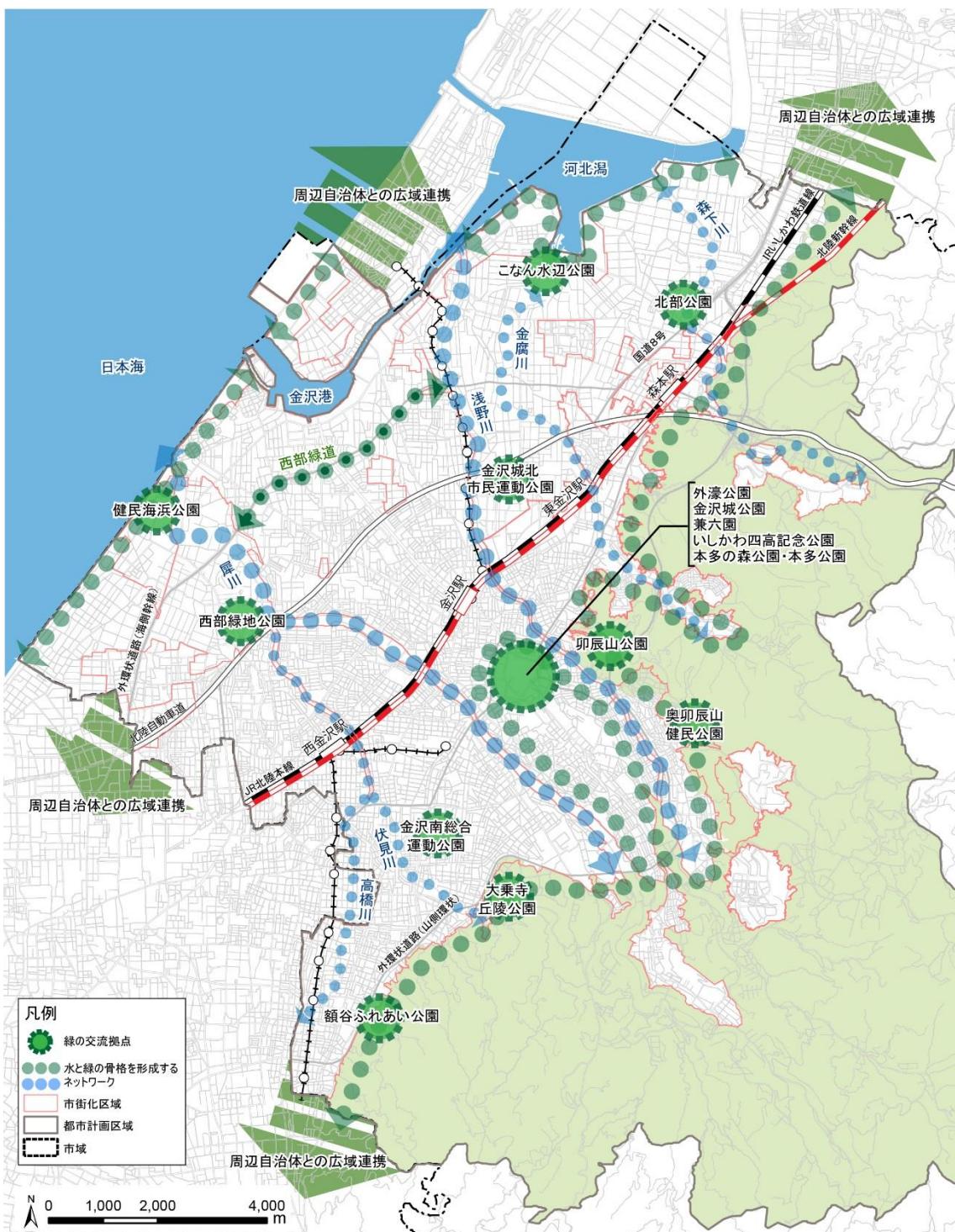
これらを構成する水と緑の資源は、市民の快適な暮らしや来訪者との多様な交流を支えるだけにとどまらず、生態系の有機的なつながりを育み、本市固有の生物多様性を生み出しています。

一方で、丘陵地や海岸沿い等における病害虫の発生防止、斜面緑地における土砂災害や河川緑地の豪雨災害の防止など、安全安心面からみた水と緑のネットワークの保全策のほか、地形の緑を適切に維持管理し、継承していくための取組が大きな課題となっています。また、大規模な公園や河川敷、西部緑道等における多様な利用ニーズに対応したさらなる機能やサービスの拡充と提供が求められています。



こなん水辺公園の田植え

【ネットワーク位置図】



## ◆緑のまちづくり方針

立地特性に応じた緑の交流拠点機能の強化とひととまち・自然をつなぐ  
水と緑のネットワークを形成する緑のまちづくり

継：継承に関する施策、活：活用に関する施策、連：連携に関する施策

区分	主な取組内容
緑の 交流拠点	<p>継 こなん水辺公園や金沢城北市民運動公園、金沢南総合運動公園のほか、健民海浜公園、西部緑地公園、北部公園は、海や河川に近接していることから、周辺の公園緑地や街路樹、民有地の緑化空間と連携した水と緑のネットワークの核として、適切な維持管理・更新を進めます。</p> <p>継 活 市中心部に位置する金沢城公園や兼六園周辺の緑は、中山間地からつながる河岸段丘の斜面緑地を介した生態系ネットワーク上、まちの緑の心臓としての役割を果たしていることから、賑わいや交流の創出と適度な調和を図った緑の維持管理に努め、良質なまちなかの緑環境として保全、継承します。</p> <p>活 金沢城北市民運動公園と金沢南総合運動公園については、その立地と規模を活かした本市におけるスポーツやレクリエーション活動拠点として、交流機能の発揮と市民の健康づくりにむけた拡張や再整備を進めます。</p> <p>活 西部緑道、卯辰山公園、大乗寺丘陵公園、金沢城北市民運動公園、金沢南総合運動公園については、改修や延伸、拡張整備に併せ、広域避難地としての機能発揮に必要な空間の確保と防災施設の充実を図ります。</p> <p>活 本多の森公園・本多公園においては、東京国立近代美術館工芸館の移転等に合わせた周辺の緑地や施設の整備を進め、本市の歴史文化の中心地として魅力ある緑のオープンスペースを創出します。</p> <p>活 連 東部から南部へと連なる丘陵地に立地する卯辰山公園や奥卯辰山健民公園、大乗寺丘陵公園、額谷ふれあい公園については、背後に広がる豊かな自然環境とのつながりや斜面緑地としての景観の重要性に配慮し、多様な主体と連携しながら、適切かつ効果的な運営・管理にむけた柔軟な発想による取組や身近な環境教育の場としての利用など、積極的な活用を図ります。</p>

## 第4章 エリア別の緑のまちづくり方針

●：継承に関する施策、○：活用に関する施策、◎：連携に関する施策

区分	主な取組内容
水と緑のネットワーク	<p>(日本海や河北潟沿岸)</p> <p>●◎県や周辺自治体、NPO法人等と連携し、魅力ある景観やレクリエーション空間の確保、良好な水辺環境の保全に努めます。</p> <p>(犀川・浅野川等の河川)</p> <p>●犀川や浅野川をはじめとした河川堤防沿いのサクラやマツの並木等は、良好な川筋景観を形成している貴重な緑であることから、県や市民とともに適切な維持管理・更新、保全、育成に取り組みます。</p> <p>●犀川と浅野川をつなぐ西部緑道は、引き続き延伸整備を進め、水と緑に包まれたレクリエーション空間を創出します。</p> <p>(丘陵地や台地の斜面緑地)</p> <p>●周辺自治体と連携しながら、風致地区や特別緑地保全地区、斜面緑地保全区域の指定に基づいた適切な維持管理を促進し、良好な斜面緑地の景観と豊かな生態系ネットワークを保全します。</p> <p>●斜面緑地の土砂災害対策工事にあたっては、動植物の生息・生育環境に配慮した工法や植栽樹木の採用等により、安全安心を確保しながら、山間部からまちなかへの生態系ネットワークの保全に努めます。</p>



犀川沿いの桜並木

## 3. 推進施策・取組と展開エリアの対応一覧表

区分	施 策	取 組	エリア・ネットワーク・拠点（◎重点施策、○該当施策）				
			自然	緑と農	暮らしの質	都市の魅力	ネットワーク・拠点
都市の緑	継承 都市の緑の維持管理の推進	①公園緑地・街路樹の適切な維持管理の実施	○	◎	◎	◎	
		②効果的な維持管理手法の確立	○	◎	◎	◎	
		③計画的な施設更新		◎	◎	◎	
		④生態系ネットワークの強化	○	◎	◎	◎	◎
	活用 新たな価値を生む緑空間（グリーンインフラ）の創出	①公共公益施設の魅力的な緑化空間の創出		○	○	○	
		②民有地における良質な緑化の促進		○	○	◎	
		③暫定緑化空間の創出		◎	◎	◎	
		④特色ある公共緑化空間の整備		○	○	◎	◎
	市民の安全を支える緑の防災機能の活用・充実	①公園緑地の防災機能の強化					◎
		②まちなか緑の防災空間の整備・創出			◎	◎	
連携	魅力ある水と緑のネットワークの形成	①骨格をなす水と緑のネットワークづくり	◎			◎	◎
		②水と緑のまちなか交流軸（回廊）の形成		◎	○	○	
	地域特性に応じた緑のマネジメントの推進 (公園緑地の機能分担・再編)	①地域の実情を踏まえた公園緑地の機能分担・再編				◎	
		②公園整備に関する制度及びあり方の見直し			◎	◎	◎
	地域特性に応じた緑のマネジメントの推進 (公園緑地の魅力発揮にむけた運営・管理)	①民間活力等を活かした運営・管理と魅力あるサービスの提供		◎	○	○	
		②公園緑地の柔軟な活用と利便性向上にむけた仕組みづくり				◎	◎
	緑化活動推進団体等の育成・支援	①緑のまちづくりの担い手の育成	○		◎	◎	
		②地域に根ざした緑化活動推進団体のネットワーク形成		○	○	○	
		③緑化活動に係る支援・報奨制度の見直し・充実		○	○	○	
歴史文化の緑	各種イベント開催・情報の発信	①緑と花に関するイベントの充実	○				◎
		②緑に関する情報の効果的な発信		○	○	○	
	地域コミュニティとの連携強化	①多様な主体との連携による活動展開	◎				
		②公園における交流の促進		◎	◎	◎	
地形の緑	継承 地域のシンボルとなる緑の継承	①保存樹・樹林等の指定と良好な保全管理		◎	◎	◎	
		②市民共有の財産としての緑の継承促進	○	○	○	○	
	活用 地域の特徴的な緑の魅力の向上	①歴史的・文化的趣と一体となった緑化空間の修景・整備		○	○	◎	
		②庭園・緑地等の新たな利活用				◎	◎
		③水と緑を活かした夜間景観の魅力向上			◎	◎	
	連携 市民協働による保全活動の促進	①保存樹・樹林等の価値の認識向上	○			◎	
		②市民協働による歴史ある緑や用水の維持管理活動の促進	○	◎	○	◎	
		③歴史的なまちなみを彩りを加える園芸活動の促進		○	○	◎	
地形の緑	継承 特色ある地形の緑の継承	①斜面緑地や丘陵地等の緑の継承				◎	◎
		②河川の緑の保全				○	○
		③海岸や河北潟周辺の緑の継承				◎	◎
		④農地・森林の多面的機能の維持	◎				
	活用 魅せる緑・癒しの緑の創出・利活用	①地形を活かした魅せる緑の創出					○
		②自然が広がる癒しの緑の利活用				◎	◎
	連携 自然や緑に触れ学ぶ機会の充実と保全活動の促進	①自然や緑を体験・学習する機会づくり	○	○	○	○	○
		②多様な主体と連携した農林地保全活動の展開	○	○	○	○	○

※◎：卯辰山、○：大乗寺丘陵公園、◎：西部緑道